

V 調查票

V 調査票

富山市男女共同参画に関する市民意識調査

ご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、富山市では、男女が互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いながら、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる社会の実現に向けて、「富山市男女共同参画プラン」を策定し、さまざまな取組みを行っています。

この調査は、20歳以上79歳以下の市民の皆様の中から、無作為に2,000人を選ばせていただき、男女共同参画に関する意識や実態、ニーズをお伺いし、令和3年度に策定予定の「第2次富山市男女共同参画プラン後期実施計画」や今後の施策の推進のための基礎資料とするために実施するものです。

お答えいただきました内容は、上記の調査目的以外に使用することはありません。

お手数とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、同封致しました「第2次富山市男女共同参画プラン」をご一読頂いた上、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和2年7月

富山市長 森 雅志

調査票のご記入にあたって

- ◆この調査票は、あて名のご本人が記入してください。お名前を書きいただく必要はありません。
- ◆この調査は、令和2年7月1日現在で回答してください。
- ◆ご記入は黒の鉛筆またはボールペンでお願いします。
- ◆回答は、あてはまる回答の番号に「○」をつけてください。
回答数は、各設問に（1つだけに○）、（いくつでも○）などと指定してありますので、それらに従って回答してください。
- ◆ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて

7月31日（金）までに

郵便ポストに投函くださるようお願い申し上げます。切手を貼る必要はありません。

【問い合わせ先】

- 調査委託先 株式会社ラックス（担当 井上） TEL：076-422-7478
〒930-0975 富山市西長江一丁目12番地1
- 調査担当課 富山市市民生活部 男女参画・市民協働課 TEL：076-443-2051
〒930-8510 富山市新桜町7番38号

富山市男女共同参画に関する市民意識調査

はじめに、あなたご自身のことについてお聞きします。それぞれの項目ごとに、該当する番号に○をつけてください。

①性 別	1. 男 性 2. 女 性
②年 齢 (7月1日現在)	1. 20～29 歳 2. 30～39 歳 3. 40～49 歳 4. 50～59 歳 5. 60～69 歳 6. 70 歳以上
③結 婚	1. 結婚している 2. 結婚していないがパートナーと暮らしている 3. 結婚していたが、離別または死別した 4. 結婚していない
④働 き 方	「③結婚」で「1.結婚している」「2.結婚していないがパートナーと暮らしている」を選んだ人のみ回答してください。 1. 共働き 2. 夫(男性)のみ就業 3. 妻(女性)のみ就業 4. その他
⑤家 族 構 成	1. 一人暮らし 2. 夫婦(パートナー同士)のみ 3. 二世帯同居(親と子) 4. 三世帯同居(親・子・孫) 5. その他
⑥職 業	1. 自営業 (農林漁業・商工サービス業・自由業等、家族従業者を含む) 2. フルタイム(常勤)の勤務 (企業・団体等の役員を含む) 3. パートタイムの勤務 (アルバイト、嘱託その他) 4. 無職 (主婦・主夫、学生、年金生活者、その他の無職)

I 男女平等に関する意識について

問1 あなたは、次のような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。
(○はそれぞれ1つずつ)

	1 れている 男性の方が非常に優遇さ	2 方が優遇されている どちらかといえば男性の	3 平等	4 方が優遇されている どちらかといえば女性の	5 れている 女性の方が非常に優遇さ	6 わからない
(記入例)	1	2	③	4	5	6
① 家庭生活	1	2	3	4	5	6
② 職場	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5	6
④ 政治の場	1	2	3	4	5	6
⑤ 法律や制度上	1	2	3	4	5	6
⑥ 社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑦ 自治会・町内会などの地域活動	1	2	3	4	5	6

問2 地域の活動（自治会、町内会、PTA など）で、男女の役割分担などについて次のように感じたことがありますか。（いくつでも○）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な役職には男性が就き、女性は補助的役職に就く慣行がある 2. 女性自身が役職に就きたがらなかったり、発言しない（少ない） 3. 男性が女性を対等なパートナーとしてみていない 4. 女性が表に出るべきでないという雰囲気がある 5. 女性には発言の機会が与えられなかったり、意見が聞き入れられない 6. 日常の活動に男性の参加が少ない 7. 活動の準備や後かたづけなどは女性が行う慣行がある 8. その他（具体的に： _____） 9. 感じたことがない

問3 あなたは、男女共同参画に関する言葉を知っていますか。
 (〇はそれぞれ1つずつ)

	1	2	3
	言葉も内容も知っている	言葉は知っているが内容は知らない	言葉も内容も知らない
(記入例)	1	②	3
① 男女共同参画社会基本法	1	2	3
② 富山市男女共同参画プラン	1	2	3
③ 女子差別撤廃条約	1	2	3
④ 男女雇用機会均等法	1	2	3
⑤ 育児・介護休業法	1	2	3
⑥ DV防止法	1	2	3
⑦ ストーカー規制法	1	2	3
⑧ 女性活躍推進法	1	2	3
⑨ ワーク・ライフ・バランス	1	2	3
⑩ ポジティブ・アクション	1	2	3
⑪ ジェンダー	1	2	3
⑫ セクシュアル・ハラスメント、マタニティハラスメント	1	2	3
⑬ デートDV	1	2	3
⑭ SDGs(持続可能な開発目標)	1	2	3

II 家庭生活、育児、介護等について

問4 あなたの一日における時間の使い方をお尋ねします。平日は①から⑤、休日は②から⑤のそれぞれの時間について、どのくらい使っていますか。30分単位で記入してください。
(たとえば、「1時間30分」の場合は「1.5」とご記入ください)

	1	2
	平日	休日
(記入例)	1.5 時間	3.0 時間
①収入を得ている労働の時間 (通勤時間を含む)	<input type="text"/> 時間	
②家事の時間 (炊事・洗濯・掃除・買物など)	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
③育児の時間	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
④介護の時間	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間
⑤余暇の時間 (新聞・テレビ・休養・趣味・社会活動など) ※睡眠や食事の時間を除きます	<input type="text"/> 時間	<input type="text"/> 時間

問5 あなたは、次のような考え方について、どう思いますか。①②のそれぞれについて、あなたの考えに近い番号を1から5の中から選んで○をつけてください。
(○はそれぞれ1つずつ)

	1	2	3	4	5
	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
(記入例)	1	2	③	4	5
① 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方	1	2	3	4	5
② 「結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」という考え方	1	2	3	4	5

問6 次の①～④の事柄について、あなたの家庭では、主に誰が担当しますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	自分	配偶者(パートナー)	自分と配偶者が半分ずつ担	親(男性) (自分または配偶者(パートナー)の)	親(女性) (自分または配偶者(パートナー)の)	自分の子(男性)	自分の子(女性)	その他家族	外部サービスを利用	該当しない
(記入例)	1	2	③	4	5	6	7	8	9	10
① 家事 (炊事・洗濯・掃除・買物など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
② 育児 (子どもの世話、しつけ、教育など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
③ 介護 (親や家族などの介護)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
④ 地域活動 (自治会、町内会、PTAなど)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問7 全ての方に伺います。あなたの理想の(もちたいと思う)子どもの数は何人ですか。また、あなたは実際には生涯に何人子どもを持つつもりですか(持ちましたか)。(○はそれぞれ1つずつ)

	1	2	3	4	5
	0人	1人	2人	3人以上	い わ か ら な
(記入例)	1	2	③	4	5
① あなたの理想の(もちたいと思う)子どもの数	1	2	3	4	5
② 実際に持つつもりの子どもの数(実際に持った子どもの数)	1	2	3	4	5

問8 あなたは、子育てと仕事についてどのように考えていますか。(1つだけに○)

1. 子育ては女性の仕事だから、女性は職業をもたずに子育てに専念する
2. 女性は育児休暇制度などを活用し、乳児期は子育てに専念し、それ以降は子育てと仕事を両立させる
3. 子育ては女性中心で男性はできるだけ協力し、女性を働きやすくする
4. 子育ては女性にも男性にも重要なことだから、男女ともほぼ等しく関わる
5. わからない

《子どもがいる方にお聞きします。》 子どもがいない方は次ページ問11へ

問9 あなたは育児休業を取りましたか。(1つだけに○)

1. 取った

2. 取らなかった

問10 問9で「2. 取らなかった」と答えた方にお聞きします。
取らなかった理由は何ですか。(1つだけに○)

1. 配偶者(パートナー)が取ったから
2. 休暇がとりにくい職場の雰囲気(環境)だったから
3. 勤務先では育児休業の制度がなかったから
4. 必要がなかったから(親に見てもらうなど)
5. 休業すると、その間収入が減るから
6. 復帰後、昇給(昇格)への不安や、仕事についていけるかななどの不安があったから
7. その他(具体的に:)

《全員の方にお聞きします。》

問 11 育児休業は男性も取ることができます。職場で男性が、取ることについて、どう思われますか。(1つだけに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 男性も育児休業を取った方がよい | 2. 男性は育児休業を取る必要がない |
| 3. どちらともいえない | |

問 12 今後、男性が女性とともに家事、育児、介護、地域活動などに積極的に参加していくためにはどのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

- | |
|---|
| 1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと |
| 2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと |
| 3. 夫婦(パートナー同士)の間や家族間でのコミュニケーションをよくはかること |
| 4. 年配者やまわりの人が、夫婦(パートナー同士)の間の役割分担などについて、当事者の考え方を尊重すること |
| 5. 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること |
| 6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること |
| 7. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどの ICT を利用した多様な働き方を普及することで仕事以外の時間をより多く持てるようにすること |
| 8. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと |
| 9. 男性が家事・育児などを行うための仲間(ネットワーク)づくりを進めること |
| 10. その他 () |
| 11. 特に必要なことはない |

Ⅲ 仕事について

《現在、働いている方全員にお聞きします。》 働いていない方は次ページ問 14 へ

問 13 次の①～⑧について、職場の実態またはあなたの感じ方に近いものを 1～4 の中から選んで○をつけてください。(○はそれぞれ 1 つずつ)

	1	2	3	4
	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	わからない
(記入例)	1	②	3	4
① 採用や退職について、男女に差がなくなっている	1	2	3	4
② 仕事の分担は、男女関係なく個人の適性に合った形になっている	1	2	3	4
③ 同じ仕事の場合、男女同じように昇給・昇格している	1	2	3	4
④ 男女は、同じように研修や訓練を受けている	1	2	3	4
⑤ 育児休業制度が活用されるなど、妊娠・出産・育児などを支える制度、雰囲気がある	1	2	3	4
⑥ 女性は責任が重くなるのを敬遠しているように思われる	1	2	3	4
⑦ 女性も管理職に就いて、経営方針や企画に積極的に関わっている	1	2	3	4
⑧ 出産などにより一旦退職した女性が同じ職場に再雇用されている	1	2	3	4

IV ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問 14 仕事と家庭生活等について、あなたが望ましいと思うのはどれですか。また、あなたご自身の実際の生活はいかがですか。

（○はそれぞれ1つずつ）

	1	2	3	4	5
	仕事を中心にする	仕事と家庭生活等にも携わるが、あくまで仕事を優先する	家庭生活等と仕事を同じように両立させる	仕事には携わるが、家庭生活等を優先させる	家庭生活等を中心にする
（記入例）	1	2	③	4	5
① 望ましい男性のあり方	1	2	3	4	5
② 望ましい女性のあり方	1	2	3	4	5
③ あなたの実際の生活	1	2	3	4	5

問 15 男女がともに仕事と家庭を両立していくためには、企業等においてどのような取り組みが必要だと思いますか。（いくつでも○）

1. 就業労働時間を短縮する
2. 育児休業・介護休業制度を取得しやすい環境をつくる
3. 育児休業・介護休業中の賃金その他の経済的支援を充実する
4. 地域の保育施設や保育時間の延長など保育制度を充実する
5. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入する
6. 企業における上司や同僚など、周囲の意識を変える取り組み
7. その他（具体的に: _____）
8. わからない

V セクシュアル・ハラスメントについて

問 16 あなたは、過去5年以内に職場（アルバイト先を含む）や学校、地域の会合などで次のようなセクシュアル・ハラスメント（性的ないやがらせ）をされたり、見たりした経験がありますか。（いくつでも○）

1. 服装や髪型に対する干渉
2. 顔や体型などの容姿に対するからかい
3. 男（女）のくせにという嫌み
4. でしゃばるなどと言われる
5. 性の話や冗談（猥談）
6. 酒宴の席でのお酌や接待の強要
7. 身体への不必要な接触
8. 職場（学校）の地位を利用した交際の強要
9. その他（具体的に： _____ ）
10. 経験がない
11. 何がセクシュアル・ハラスメントかわからない

問 17 セクシュアル・ハラスメントをされたり、見たりした時、あなたはどうしましたか。（経験の無い方は「どうするか」に置きかえて考えてください。）
（いくつでも○）

1. 相手に直接抗議した
2. 上司、先生に相談した
3. 同僚や友人に相談した
4. 家族・親戚に相談した
5. 職場・学校内の相談窓口で相談した
6. 職場・学校外の専門機関に相談した
7. 誰にも話（相談）していない
8. 誰に（どこに）相談すればよいか分からなかった
9. その他（具体的に： _____ ）

問 20 問 19 で「1. どこ(だれ)にも相談しなかった」と回答した方にお聞きします。
相談しなかった理由はどんなことですか。(いくつでも○)

1. どこ(だれ)に相談したらよいかわからなかった
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかった
3. 相談してもむだだと思った
4. 相談したことがわかると、仕返しされたり、もっとひどい暴力を受けると思った
5. 加害者に「だれにも言うな」とおどされた
6. 相談した相手にいやなことを言われたり、不快な思いをさせられるかもしれないと思った
7. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思った
8. 世間体が悪いと思った
9. 自分たち以外の人を巻き込みたくなかった
10. 知人や友人などに知られると、これまで通りのつきあい(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思った
11. そのことについて考えたくない、思い出したくなかった
12. 自分にも悪いところがあると思った
13. 相手の行為は愛情の表現だと思った
14. 相談するほどのことではないと思った
15. その他 ()

《全員の方にお聞きします》

問 21 配偶者や交際相手との間で、相手から暴力を受けたときに相談できる窓口としてどのようなところを知っていますか。(いくつでも○)

1. 富山市男女共同参画推進センター (DV 相談専用電話)
2. 富山市こども福祉課 (女性悩みごと相談)
3. 富山県警察本部 (警察相談専用電話(相談 110 番))
4. 配偶者暴力相談支援センター (富山県女性相談センター)
5. 富山県民共生センター (サンフォルテ相談室)
6. 性暴力被害ワンストップ支援センターとやま
7. その他 ()
8. 知っているところはない

VII 防災について

問 22 東日本大震災をはじめとした近年の災害対応における経験から、日頃の防災活動や災害発生時の対応にも男女共同参画の視点が必要だと言われています。
今後、防災分野で男女共同参画の視点を活かすためには、どのようなことが重要だと思いますか。(いくつでも○)

1. 女性も男性も防災活動や訓練に取り組む
2. 防災分野の委員会や会議に、より多くの女性が参加する
3. 防災や災害現場で活動する女性を育成する
4. 災害に関する各種対応マニュアル等に男女共同参画の視点を入れる
5. 日頃から地域の男女共同参画を進める
6. 避難所の管理運営に男女双方の意見を積極的に取り入れる
7. 備蓄品に男女双方の視点を入れる
8. 男女共同参画の視点を活かす必要はない
9. その他 ()

VIII 互いの性差の理解について

問 23 女性は、男性とは異なる健康上の問題に直面することがあります。こうした問題の重要性について社会全体で認識し、理解を深める必要があります。
女性が、生涯を通じた健康を考える上で、あなたはどのようなことが重要だと思いますか。(いくつでも○)

1. 女性の健康に関する情報提供・相談体制の充実
2. 性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実
3. 更年期についての情報提供・相談体制の充実
4. 婦人科系疾患(子宮がん・乳がんなど)の検診受診の啓発
5. 子どもの成長と発育に応じた性教育
6. 特に必要なことはない
7. その他 ()

IX 男女共同参画社会実現に向けての取り組みについて

問 24. 男女共同参画を推進するために、あなた自身ができること、又はしなければならないことはどのようなことと思いますか。(いくつでも○)

1. 仕事、家事、育児などを配偶者（パートナー）とともに担う
2. 社会活動、地域活動などを配偶者（パートナー）とともに担う
3. 経済的に自立する
4. 自分の身の回りのことができるよう生活面で自立する
5. 仕事と生活の時間のバランスをうまく取る
6. 社会の一員としての自覚と責任を持つ
7. 育児・介護休業が必要な場合など配偶者（パートナー）と相談の上取得する
8. 人権・平等についての理解を深めるように努める
9. 配偶者（パートナー）とのコミュニケーションを深める
10. その他（）

問 25 「男女共同参画社会」を形成していくため、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(いくつでも○)

1. 法律や制度の面で見直しを行う
2. 女性を政策決定の場に積極的に登用する
3. 各種団体の女性のリーダーを養成する
4. 職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底する
5. 女性の働く場や機会を増やしたり、従来女性の就労が少なかった分野などへの女性の進出を促すため、職業教育や職業訓練を充実する
6. 子育てや高齢者のための施設やサービスを充実する
7. 学校教育や社会教育・生涯教育の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する
8. 女性の生き方に関する情報提供や交流の場、相談、教育などのセンターを充実する
9. 各国の女性との交流や情報提供など、国際交流を推進する
10. 広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてPRする
11. その他（）
12. 特にない
13. わからない

問 26 「男女共同参画社会」をさらに推進していくためのご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、7月31日（金）までに、郵便ポストに投函してください。

富山市男女共同参画に関する市民意識調査報告書

令和2年10月発行

富山市市民生活部 男女参画・市民協働課

富山市新桜町7番38号

TEL (076) 443-2051

集計・分析 株式会社ラックス

富山市西長江一丁目12番地1

TEL (076) 422-7478